

小児



コーナー



小児の言語訓練

北病院
言語聴覚士
浜崎 京美

言語訓練の対象となるのは、主にことばやコミュニケーション面で同年齢児に比べて遅れている場合となります。

(当院での)対象年齢は主に3歳～未就学児ですが、症状によっては就学児も対象となることがあります。お子様の症状が気になる方は北病院小児科へご相談下さい。

お子様の気になる症状例

- ・ことばの遅れ(聞く・話すに遅れがある) 例:同年齢児との簡単な会話を理解できていない、簡単な指示の理解ができず違うことをする、単語を数語しか話さない、話す文章がちぐはぐしている。
- ・認知面の遅れ 例:色や大小や順番の理解があいまい。
- ・音を言い間違える。 例:さ⇔た・しゃ「さかな」⇔「たかな」、か⇔た「みかん」⇔「みたん」、だ⇔ら「ぱんだ」⇔「ぱんら」
- ・一方的に話し、会話のキャッチボールができない。